


家庭科で目指す資質・能力を育むためには、※「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ」、取り上げた視点から、実生活と関連を図った問題解決的な学習を効果的に構想し、「生活上の課題を解決する力」を育む指導を充実させる必要があります。そのためには、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善するという【資料】のような学習過程を工夫することが重要です。

※「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ」とは、家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を学習対象とし、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、生涯にわたって、自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活を営む工夫をすることです。

【資料】家庭科，技術・家庭科（家庭分野）の学習過程の参考例 （新小学校学習指導要領解説 家庭編より）

生活の課題発見	解決方法の検討と計画		課題解決に向けた実践活動	実践活動の評価・改善		家庭・地域での実践
	既習の知識及び技能や生活経験を基に生活を見つめ、生活の中から問題を見だし、解決すべき課題を設定する	生活に関わる知識及び技能を習得し、解決方法を検討する		解決の見通しをもち、計画を立てる	実践した結果を評価する	

〔指導例〕 小学校第6学年 内容「B 衣食住の生活 （6）快適な住まい方」 題材名：クリーン大作戦

生活の課題発見	<ul style="list-style-type: none"> 学校の汚れを調べ、毎日掃除してもほこりや床の汚れが残っていることに気付く。 「ほこり」の正体を探る実験をし、ほこりは健康に悪いことや掃除の必要性に気付く。 題材を通しての課題「よりきれいに掃除するためには、どうすればいいのか」を設定する。 	
解決方法の検討と計画	<ul style="list-style-type: none"> 教室を暗くしライトをつけ、モップを振った際に舞い上がるほこりを観察し、ほこりは舞い上がるとなかなか落ちてこないこと、モップを静かに振ってごみを落とすとよいことなどに気付く。 学級の清掃活動を、汚れの種類に応じた清掃の仕方として整理してから、よりきれいにするための清掃の仕方（解決方法）について話し合い、解決方法を基に家庭科室の清掃計画を立てる。 	
課題解決に向けた実践活動	<ul style="list-style-type: none"> グループ又はペアで、自分たちの清掃計画で本当に汚れが落ちるのかを実践する。 清掃前後の状態をタブレットPC等で撮影したり、清掃中の様子をメモしたりして記録する。 	
実践活動の評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> 実践後、記録した画像やメモを基に課題の達成状況を振り返る。 グループや学級全体での話し合いを通して、改善策を考えたり、次の課題を明確にしたりする。その際、改善策の実践の場として各家庭での実践（玄関や階段のモップがけや水拭きなど）を設定する。 	